

2024（令和6）年度 事業報告書

社会福祉法人山鳩会
みどりの森 就労継続支援B型

1. 理念・方針

（1）法人理念

①障がいがある人に…

自分の持っている力を発揮しながら、普通の生活を営み、自らが社会に価値のあるものである事に気づき、自己実現していけるよう支援する。

②障がいがある人の家族に…

障がいがある人への思いを受け止め、それを実現していく。

③援助者には…

障がいがある人と共に歩みつつ、自己実現を図るために必要なサービスを提供し、常に向上的である人材に育てる。

④地域の方に…

共に生きていく環境を実現するために、互いにメリットのある関わりを築いていく。

（2）基本方針

①地域の方と円滑な関係を築き、交流を深める。

・地域の行事に多数参加し、地域清掃や資源回収、バザー施設まつりを通してみどりの森が地域に根差した施設であることを認知されるようになった。

②心身ともに安定した生活が送れるように支援する。

・長期欠席等なく利用者が安定して通所できており、心身に対する支援も行えている。利用者に合った支援方法とは何かを探りながら支援をした。個別に話を聞いたり、場面を調整したりといった個別の調整を要する場面が多かった。

③多機能型の特性を活かした運営を行う。

・B型事業、自立訓練事業双方の特色を活かし、訓練の場を提供できた。年度途中で自立訓練が廃止となったが、教材とスキルは廃止後も有効に利用できている。

④健康の維持・増進と病気の早期発見に努める。

・令和6年度の報酬改定により摂取量を完食、ほぼ、半分、少量の4段階で記録した。各種健診については、健康に関する情報や結果を家庭と共有し、必要に応じて通院同行を行なった。また、PTを活用した個別支援計画を立案し個別対応を行なった。

⑤就労・社会参加の場として適切な環境を提供する。

・今年度就労を再開した利用者があり、就労者に負担がないかを担当職員を中心に体調面や精神面のケアに努めた。また、一般就労を希望する方の調整も行なった。

（3）中期目標（令和4年度～令和6年度）

①多機能型の特性を活かした運営手段を確立する。

・多機能型として、お互いに支援領域を超えた部分でサービス提供を行えた。

②新たな地域で回収や清掃活動、バザーを行うことで地域と良好な関係を築く。

- ・事業所前にアルミ缶の回収ボックスを設置し周囲に認知されてきた。定期的にバザーを開催したり地域のイベントでバザーを出店したことで地域に認知されるようになった。
- ③職員一人一人が自らの役割を明確化し、チーム一丸となってより良いサービスを提供する。
- ・役割を明確化することで、全職員が意識を持って業務を行えた。個々の能力にあった配置の中で力を発揮できた。より良い支援のため、作業配置の流動化やケース会議の活用などによって一人一人の役割について把握し共有しながらサービス提供を行なった。

2. 施設概要

- (1) 施設種別 指定障害福祉サービス事業（就労継続支援B型）
- (2) 利用定員 31名（現利用者数32名）
- (3) 開所年月 平成21年4月1日
- (4) 施設規模
- | | |
|------|-----------------------------|
| 敷地面積 | 539.34㎡ |
| 延床面積 | 280.54㎡（専有99.45㎡ 共有141.25㎡） |
| 建物構造 | 木造1階建て |
| 賃貸区分 | （土地）賃貸 （建物）賃貸 |

3. 職員構成

- (1) 雇用契約あり

職 種	配置人数
管理者	1名
サービス管理責任者	1名（兼任）
支援員（常勤職員）	4名（兼任）
保育士（常勤職員）	0名
調理員（常勤職員）	0名
事務員（非常勤職員）	1名
支援員（非常勤職員）	8名 ※2名調理と兼務
保育士（非常勤職員）	0名
調理員（非常勤職員）	3名
看護師（非常勤職員）	0名
理学療法士（非常勤職員）	1名
作業療法士（非常勤職員）	0名
合 計	16名

- (2) 嘱託

医師（2回／年）	1名
看護師（0回／月）	0名
理学療法士（0回／年）	0名
作業療法士（0回／月）	0名
合 計	1名

4. 利用者状況

(1) 障害程度

	1 度	2 度	3 度	4 度	未 定	合 計
愛の手帳	1 名	1 0 名	1 4 名	7 名	0 名	3 2 名
身障手帳	3 名（重複）					3 名
精神保健手帳	0 名					0 名

※身障手帳・精神保健手帳と重複

(2) 年齢構成（平均年齢 39.4 歳）

	19 歳以下	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	合 計
男	1 名	4 名	6 名	4 名	7 名	0 名	2 2 名
女	0 名	2 名	6 名	1 名	0 名	1 名	1 0 名
合計	1 名	6 名	1 2 名	5 名	7 名	1 名	3 2 名

最低年齢 男… 19 歳 女… 21 歳 最高年齢 男… 55 歳 女… 82 歳

平均年齢 男… 39.5 歳 女… 39.1 歳

(3) 担当福祉事務所

東村山市	清瀬市	杉並区			合 計
30 名	1 名	1 名			3 2 名

(4) 障害支援区分

区分	2	3	4	5	6	未 定	合 計
人数	1 名	7 名	7 名	6 名	0 名	1 1 名	3 2 名

(5) 利用状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
入所者	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
退所者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
月末数	33	33	33	33	33	33	33	33	33	32	32	32	393
延べ日数	726	759	726	759	726	726	759	726	759	736	640	736	8,778
延べ人数	659	687	613	702	625	663	699	661	683	663	608	686	7,949
出席率（定員）	96.6	96.4	89.9	98.5	91.6	97.2	98.0	96.9	95.8	93.0	98.1	96.2	95.7
出勤率（現員）	90.8	90.5	84.4	92.5	86.1	91.3	92.1	91.0	90.0	90.1	95.0	93.2	90.6

5. 日課

(1) 月～金曜日

時間	内容
8 : 30～ 9 : 00	朝礼・軽運動
9 : 00～11 : 45	作業
11 : 50～12 : 50	昼食・昼休み
12 : 50～15 : 30	作業
15 : 30～15 : 45	清掃
15 : 45～16 : 00	終礼・帰宅

(2) 土曜日

時間	内容
8 : 30 ~ 9 : 00	朝礼・ストレッチ
9 : 00 ~ 11 : 20	作業
11 : 20 ~ 12 : 00	昼食・終礼・帰宅

6. 重点目標

(1) 地域との関わり

- ①野口町自治会・諏訪町自治会の年間行事に参加するとともに、バザーや施設祭の開催やTボールやボッチャなどスポーツを通じた活動をすることで事業所の理解を広めて良好な関係を築く。
 - ・野口町、諏訪町の行事への参加や近隣の保育園や老人ホームとの交流、その他日中活動でのバザーや資源回収、地域清掃の実施など施設への理解の普及に努め、地域と良好な関係が築けた。
- ②地域社会の中で活躍できるような活動を行う。地域清掃活動（みどりの森クリーンプロジェクト）を通して地域に貢献する。
 - ・施設周辺の野口町、諏訪町で実施。地域の方に声を掛けられることもあり、集団で清掃することで具体的に貢献していることを示せた。

(2) 健康・衛生

- ①感染症予防対策として、日常的に利用者、職員の健康状態を把握し、衛生的な環境整備の徹底を図る。
 - ・感染症対策として朝、昼の検温を継続して実施した。また歯ブラシ・コップの消毒（第2、4金曜又は土曜）、大掃除を年の2回、帰りの掃除にアルコール消毒を徹底し、集団感染もなく事業を継続できた。事業所内の消毒は係活動や清掃時に利用者と一緒に行うことで、利用者自身も衛生面に対して意識できるような取り組みを行なった。
- ②個別支援計画に基づき理学療法士による個々のプログラムを実施し、身体機能の維持向上を図る。
 - ・昨年度の反省を生かし日課の中でストレッチの時間を作り、PT計画のある利用者はほぼ毎日実施でき、必要な人たち以外にも自由に参加することができた。担当以外の職員も個々の運動プログラムを実施できるよう、1つのファイルに運動方法をまとめ、職員全体で共有できるようにし毎日実施できるよう努めた。また、更新があった場合は新しくファイルを修正した。
- ③定期健康診断、歯科健診、インフルエンザワクチン接種、毎月の体重血圧測定の他、婦人科検診を行い、利用者の健康状態を把握する。定期健康診断結果後に職員間で周知し必要に応じて家庭等と情報共有を行う。
 - ・各種健診の実施の他、体重血圧測定については測定ができなかった利用者については、引き継ぎを繰り返しながら実施することで抜けのない実施が出来た。
 - ・定期健康診断（ひなたの道にて）白十字病院 4 / 17
 - ・婦人科検診（マンモグラフィー） 6 / 18
 - ・インフルエンザワクチン接種 11 / 18

(3) 作業・就労活動

- ①利用者現員増に伴い作業を増やし平均工賃1万円を確保する。
 - ・ おおむね達成できたが、来年度の定員増加に伴い工賃の確保が必要と考える。
- ②利用者一人一人と向き合い、個々の可能性を引き出せるよう常に模索し、働くことの喜びや達成感を得られるような取り組みを行う。
 - ・ 出来なかったことを手段や実施手順を個別化して取り組むことで出来るようになった利用者が少なくない。また同じ作業でも環境が異なるとできることもあるため、調整しながら取り組むように職員側が環境整備し試行錯誤して行なった。
- ③職員配置を流動化することで職員の意識やスキルアップを図る。
 - ・ 出来る範囲で実施し、概ね流動化し配置することができたが、一部固定化されている作業配置があったため来年度の課題である。
- ④現在就労している人が安心して働き続けられるよう関係機関と連携しフォローしていく。
またニーズに応じて外部実習や短時間雇用の開拓・支援を行ない、就労施設とは違った新しい社会参加の形を提供する。
 - ・ 障害者雇用によって短時間勤務を開始した利用者については頻回な巡回指導を要する為、利用者の自己実現のため調整しつつ、求人内容については十分精査しながら開拓を行なった。また体調面や精神面をしっかりと考慮し、定期的に様子を見ていたと感じる。

事業所内活動

(単位：円)

	受注・納品先	作業内容	稼働日	参加者	令和5年度収入	令和6年度収入
清掃事業	西武・武蔵野パートナーズ	中央公園・浅間山清掃	月8回	8名	973,994	1,002,144
	白十字ホーム	施設内の草取り	6月～10月	8名	70,752	66,780
	個人宅	マンション清掃	月2回	4～6名	66,000	66,000
	全生園、個人宅他草取り	草取り	6月～3月	全員	336,666	379,000
	さやま園	施設内の草取り	5月～11月	全員	0	146,666
受託事業	(福)平成の里	封入・シール貼り	随時	全員	460,035	566,197
	(株)新日本包装	箱折り・組み立て	随時	全員	194,033	273,597
	(株)プロメディア	封入・シール貼り	随時	全員	589,050	841,777
	みつばち	付録解体	随時	全員	31,119	0
	新光(株)	ダンボール組立て	随時	全員	40,000	0
	みらい図	丁合	随時		127,350	73,375
	ポストウェイ	ポスティング	随時	全員	132,843	0
	その他(ひなたの道・白十字・美緒つむぎの会)	サンプル貼り・封入	随時	全員	7,240	0
回収事業	市内・近隣地域	古紙・リサイクル品回収	週2～3回	8名	2,598,197	2,794,691
その他事業	ミニバザー	リサイクル販売	月2回	8名	424,111	285,484
	白十字チラシ・遠藤製館	ポスティング・野菜洗浄	随時	全員	0	133,440
小計①					6,051,390	6,629,151

パート・アルバイト

(単位：円)

	受入先	作業内容	稼働日	参加者	令和５年度収入	令和６年度収入
パート契約	青葉の杜	施設内の清掃	週３日	１名	０	81,067
パート契約	ハーベスト	給食食器洗浄	週５日	１名	1,092,545	1,093,348
パート契約	白十字ホーム	下膳	週１日	１名	239,852	212,066
小 計②					1,332,397	1,386,481
合 計①+②					7,383,787	8,015,632

工賃支払実績

(単位：円)

	総額	平均額	最高額	最低額	パート・アルバイト
４月	540,200	18,188	34,500	3,000	91,037
５月	323,400	10,888	18,200	2,800	99,106
６月	302,800	10,195	16,800	3,300	127,488
賞与	337,000	11,347	14,000	5,000	0
７月	298,700	10,057	13,900	3,200	111,944
８月	319,700	10,764	17,500	2,200	96,155
９月	323,600	10,896	18,600	1,900	51,705
１０月	307,000	10,337	17,100	1,900	115,923
１１月	353,100	11,889	19,200	2,000	157,172
１２月	295,900	9,963	13,800	1,800	141,222
賞与	346,000	11,650	14,000	4,000	0
１月	358,500	12,071	17,000	2,000	136,446
２月	333,200	11,219	16,200	5,200	126,141
３月	337,400	11,360	16,500	5,400	132,142
合計	4,776,500	160,824	247,300	43,700	1,386,481
平均	398,042	13,402	20,608	3,642	115,540

※パート・アルバイトについては本人へ直接支給される

(４) 給食

①利用者の健康状態に基づき、可能な限り個別の希望に応じた献立を提供する。

・利用者の食事形態・体調に合った給食を提供した（刻み食・お粥）。アレルギー食物や苦手な物の除去など対応した。２月に嗜好調査を実施し好み等を調査し、今後の給食提供に活かしていく。

②栄養基準量（一人当たりの栄養基準量）

	熱量	蛋白質	炭水化物	脂肪	カルシウム	ビタミンＢ１	ビタミンＢ２	ビタミンＣ
計画	804kcal	29 g	127.8g	23.8g	258mg	0.47mg	0.53mg	38mg
実績	584Kcal	22.9g	84.8 g	18.3g	110mg	0.38mg	0.29mg	38.5mg

(５) 自治会活動

毎月１回話し合いの場を設け、利用者が日々感じている事を発信する場を提供し、要望などを具体化する支援を行う。また自分の意見を伝える力を養うことで自信に繋げていくとともに、自分の意見が取り上げられるという体験を通し日課に興味を持ち積極的に過ごす事が

できるよう支援していく。

- ・月に1回の開催が行えていなかった。行事に関する利用者のヒアリング、事業所内での問題に関して不定期での実施となっていた。利用者には感染症や休日の過ごし方、行事についての話をすることで日課へのモチベーション維持を図った。また、施設内で問題があった際はその問題を改善出来るようにした。

(6) 行事

①クラブ活動（隔月実施）※自立訓練と合同

種 目	主な活動場所
料理クラブ	みどりの森作業室 ⇒担当となった職員が工夫を凝らし毎回充実した内容だった。班で協力し合う大切さも得られた。料理の楽しさや手軽さを伝えることが出来た。
カラオケクラブ	みどりの森作業室 ⇒大きなテレビでそれぞれの好みの曲を選曲し、仲間が盛り上げながら気持ちよく歌えていた。
ボウリングクラブ	施設外のボウリング場 ⇒活動の場が変わることで非日常を楽しむことができた。純粋にボウリングを楽しむ人とボウリングを媒体にして仲間と非日常を楽しむ人がいた。好きな飲み物や自分に合った球を選ぶなど自己選択しながら活動できた。外出し日常では行えないものとして利用者に人気があった。また前回よりもスコアを上げよう等目標も立てやすいのが良かった。
写真&ゲームクラブ	(晴天時) 屋外 (雨天時) みどりの森作業室 ⇒天気に恵まれ雨天になる回はなくゲームの機会はなかったが、自分の興味のある物を撮り、他人に見てもらうことで自信を得られた。また自分が撮りたいものをうまく捉えられるようアドバイスをしながら行った。撮った写真を掲示できなかった。

②年間行事予定 ※自立訓練と合同

日付	内容	場所	目的	人数
6/24, 7/1, 7/22, 29	防災体験	立川防災館	立川防災館を訪問し、防災にまつわる知識を学び日頃の防災訓練に活かす。万一の場合に落ち着いて行動できるようになるための体験を行う。	36名
6/8	施設祭り	みどりの森	近隣、地域の方と交流し、相互理解を深める。バザー品等を販売し、工賃に反映する。みどりの森の活動を周知する。	45名
8/3	猿田彦神社夏祭り	猿田彦神社	野口町自治会行事に参加し、地域の方々と交流することで事業所の理解を深め、良好な関係を築いていく。	5名
8/9	暑気払い	みどりの森	生活訓練の一環として調理を分担し行い、ゲームを楽しむことで利用者同士の交流を深める。	43名
8/19	グループ別外出 「池袋散策～東映アニメーションミュージアム①」	池袋周辺、東映アニメーションミュージアム	公共交通機関を利用し出かける経験をする。利用者自身で外出計画を立て実行する経験を持ってもらう。利用者が自分の余暇活動で利用できる社会資源を増やしてもらう。	4名
8/20	グループ別外出グループ別外出 「高尾山」	高尾山	自然の中で身体を動かし、汗を流す。登山を通して、達成感を味わう。	12名

8/27	グループ別外出 「池袋散策～東映アニメーションミュージアム②」	池袋周辺、東映アニメーションミュージアム	希望する場所を自己選択し、グループで計画を立てて実行する。公共交通機関を利用することで外出マナーを学ぶとともに、利用者自身が余暇活動で利用できる社会資源を増やす。	6名
9/3	グループ別外出 「国立科学博物館、上野駅周辺散策」	国立科学博物館 上野駅周辺	利用者が選んだ場所に公共交通機関を利用し出かける経験をする。利用者自身が外出計画を立て実行する経験を持ってもらう。この活動を通し社会資源を利用し楽しむ経験を持ってもらう。	9名
9/10	グループ別外出 「池袋散策～東映アニメーションミュージアム③」	池袋周辺、東映アニメーションミュージアム	事前に行先や食事を選ぶことで期待感を持って臨む。非日常の体験を通し、各々の目標を達成する。	4名
9/17	グループ別外出 「池袋散策～東映アニメーションミュージアム④」	池袋周辺、東映アニメーションミュージアム	事前に行先や食事を選ぶことで期待感を持って臨む。非日常の体験を通し、各々の目標を達成する。	4名
9/20	グループ別外出 「池袋散策～東映アニメーションミュージアム⑤」	池袋周辺、東映アニメーションミュージアム	アニメ文化に親しみ、展示を見て楽しむ。池袋を散策し、文化を感じる。	4名
9/22	てんしゃばフェスタ 2024	東村山駅 西口駅前	野口町の発展として開催されるイベントに地域の一員として参加し、出店を通して地域の方々と交流しながら施設を知っていただき福祉への理解を広める。	5名
10/6	白十字八国山 フリーマーケット	白十字ホーム	諏訪町行事に参加し、地域の方々と交流を深め良好な関係を築いていく。また大勢の前でバンドを披露することで音楽の楽しさを伝え会場のみんなと共有する。	34名
10/20	諏訪スポーツ祭り	東村山市立 化成小学校	地域に根差す活動と運動不足解消を目的とし、楽しみながら参加する。みどりの森、山鳩会を知っていただく場とする。	28名
11/3	運動会(中止。施設内で ミニ運動会実施)	みどりの森	身体を動かす楽しさを味わう。	33名
11/12	親子バスハイク	横浜中華街・横浜 赤レンガ倉庫	保護者、利用者、職員の交流を図ることで普段見えない新たな一面の獲得	54名
12/8	Tボール大会	東村山市立 化成小学校	スポーツを通し、身体を動かす楽しさを実感する。諏訪地域の方々と交流を図る。	27名
12/24	クリスマス会	みどりの森	クリスマスに関連する音楽・ゲーム・食べ物などを通してクリスマスを祝う。会場設営から利用者が関わり、利用者主体の行事とする。一年間の労をねぎらう。	42名
1/19	成人を祝う会	中央公民館	人生の節目を祝う。	28名
2/22	茶話会	サンパルネ	山鳩会父母会のイベントにグリーンバンドが出演し、大勢の観客の前で演奏し、日頃の練習の成果を発揮するとともに自信に繋げていく。	12名
3/18	納会	久米川ボウル	利用者と保護者、職員とで行事を振り返り一年間の労をねぎらう。	名
3/30	西口弁天橋桜まつり	みどりの森前の 空き地	野口町の行事に参加し、地域の方々と交流することで事業所の理解を深め、良好な関係を築いていく。	4名

※グループ別外出（日帰り）1人1回

7. 防災訓練

(1) 防災

①災害時の利用者の安全を図るため、防災計画に基づき月1回の防災訓練を行う。

- ・第1週の金曜日に指定して概ね実施することが出来た。地震、火災、水害を想定しての訓練を行なった。

②市、関係機関などと協力し機能を果たせる準備を整える。

- ・実施することが出来なかった。関係機関と密に連携を図る為に共助のための準備を行っていく。

(2) リスクマネジメント

①事故対応マニュアルを施設内・車両に常備し、緊急時に対応できるようにしておく。

- ・運行日誌の最後のページに対応マニュアルを収録
- ②運転者は乗車前に毎日アルコール感知器を使用し酒気帯び確認記録表を記入し運転者の状態を確認するとともに、運転者は毎日乗車前に車両の状態も確認する。
 - ・アルコール感知器を朝のミーティングで徹底する必要があった。職員相互で確認しあえる関係作りを日頃から整備しつつ、運転者の健康状態について共助できるような配置について確認していく。
- ③構造化された安全な環境作りのため、常に整理整頓を実施し、定期的な大掃除を行う。
 - ・年2回（夏・冬）の大掃除を実施。作業室の雑多さが目立った。定期的に unnecessary なものを処分する必要があった。

8. 地域との交流

- （1）野口町自治会や諏訪町自治会の行事に参加するとともに、バザーや施設祭、スポーツ活動を通じて交流を行う。また近隣の保育園と連携し交流できる機会を設ける。
 - ・ソラスト保育園とは資源回収や各種行事で関わることができ良好な関係を築けた。保育園の職員とも円滑な関係を築けており、保育園の保護者（地域の若い住民）への障害理解に繋がりとっても重要な要素だと感じた。
 - バザーは毎月2回の予定だったが、人手や作業などの関係で出来ない日があった。次回の開催予告をしっかりと行い、集客を確実なものにしていきたい。また、土曜日に子供服の販売を考えており、客層の拡大を狙いたい。
- （2）挨拶、清掃活動、除草、回収作業など積極的に行ない、日常的な関係を充実させる。
 - ・地域清掃や回収時、利用者から積極的に挨拶をすることが増え、日々の積み重ねを実感した。地域清掃ではビブスを着用して取り組み、住民から励ましや労いの言葉をかけて頂くことが増えた。クリーンプロジェクト等安定して地域清掃を行うことができた。

9. 実習生の受け入れ

- （1）希望があれば特別支援学校・在宅者の受け入れを行い将来の進路選択につながる機会を提供する。
 - ・特別支援学校の実習を実施した。その内1名が入所となった。
- （2）大学からの実習を受け入れ、福祉職員の養成の一端を担うとともに、人材確保の機会とする。
 - ・今年度は介護等体験の事務局の都合により受け入れがなかった。

10. 保護者会との連携

- （1）支援の充実を図るため、家族の方との情報交換を密に行う。
 - ・みどりの森での保護者会や個別面談などの他、地域祭りなどでもコミュニケーションを深めることができた。また連絡帳、電話、直接会って等情報交換は行っていた。保護者参加型の行事を増やし、更に情報交換がスムーズに取れるようになれば良い。
- （2）事業所の活動への理解を深めるため、定期的に保護者会を行う。
 - ・保護者から事業所内で保護者会を実施してほしいと要望があり、今年度はすべて事業所内で実施した。写真や動画を提示しながら情報共有を行なった。
- （3）みどりの森便りを月1回発行し、活動状況を発信する。

- ・カラーで見やすく写真にも配慮し利用者にも読みやすい内容で施設や行事の様子を発信し、クオリティの高いお便りを発行できた。
- (4) 家族が参加できる行事を行い、交流の場とする。
- ・今年度はバス旅行、納会を保護者の参加可能行事として行なった。
家族参加型の行事が増え、家族のみどりの森に対する理解が深められたと感じる。利用者支援にはご家庭の理解と協力が必要であり、家庭と職員共に話しやすい雰囲気作りが大切と感じている。

1 1. 職員研修

- (1) 福祉職員として現場で活かせる専門分野の知識や技術を習得する。
- ・少しずつ対面研修が増えてきて、他法人の職員と直に情報交換ができ個々に職員のスキルアップを目指すことができた。また救急救命講習会も受講し、初めて受ける職員もいて良い研修となった。
- (2) 研修部会を中心にした全体研修会で法人の方針などを確認すると共に、施設間の交流や情報交換を行う。
- ・10月3日実施。東村山市障害支援課の職員を招き、虐待防止についてのテーマでグループディスカッションを行いながら学んだ。またミニ研修会（8月22日、1月16日実施）を開催し、常勤非常勤に関わらず意欲的に参加し意見交換を実施した。
- (3) 法人全体で定期的に行う交通安全講習会に参加し、安全運転に対する意識を高める。
- ・2月27日実施。オンラインにて講師を招き講習を実施し、安全運転に対する意識を全体で再認識した。また毎日ミーティングでヒヤリハットを報告することが定着したが、今年度も事故が発生してしまった。

研修名	実施日	主催	実施場所	参加者
福祉職員キャリアパス 対応生涯研修 チームリーダー研修	6/4,5	東京都福祉人材センター	みどりの森相談室 (オンライン型修)	佐伯哲也
施設長のための経営講座①社会福祉法人会計 入門研修	6/19～ 8/7	東京都福祉人材センター	みどりの森相談室 (収録型WEB研修)	加藤貴子
はじめて社会福祉を学ぶ 福祉職員のためのスタート アップ研修	6/19～ 8/7	東京都福祉人材センター	みどりの森相談室 (収録型WEB研修)	濱本祥子
社会福祉法人の経営力強化 ～財務会計と労務管理～	7/3	一般社団法人 福祉経営研究機構	ルミネゼロ スタジオ1・2	加藤貴子
施設職員が学ぶ 災害に向けた備え	7/17	東京都社会福祉協議会 知的発達障害部会	飯田橋 セントラルプラザ	瀬沼未来
東京都障害者虐待 防止・権利擁護研修	講義:7/16 ～8/12 演習:9/3	公益財団法人 東京都福祉保健財団	講義:収録型WEB研修 演習:ZOOM	加藤貴子
三年目職員研修	8/2 9/6	東京都社会福祉協議会 知的発達障害部会	東京都左官工業協同組合 飯田橋セントラルプラザ	瀬沼未来
施設長のための経営講座② 財務マネジメント初級研修 ～会計責任者の役割を果た すための基礎知識を身に 付けよう～	8/15～ 10/10	東京都福祉人材センター	みどりの森相談室 (収録型WEB研修)	加藤貴子

社会福祉事業従事者 人権研修【Ⅱ】	8/23	東京都福祉局生活福祉部	東京都社会福祉保健医療 研修センター	瀬沼未来
知的障害者の中年期・ 高齢期の支援について	9/13	東京都社会福祉協議会 知的発達障害部会	研究社英語センタービル	濱本祥子
全体職員研修	10/3	社会福祉法人山鳩会	ひなたの道	全員
東京都サービス管理 責任者更新研修	10/15	公益財団法人 総合健康推進財団	スクエア荏原	加藤貴子
東京都サービス管理 責任者更新研修	10/17	公益財団法人 総合健康推進財団	成増アクトホール	佐伯哲也
安全運転管理者講習	10/29	一般財団法人東京都交通 安全協会	みどりの森相談室 (オンライン型研修)	加藤貴子
強度行動障害支援者 養成研修(基礎)	講義: 10/28 ~11/8 演習: 11/14	公益財団法人 東京都福祉保健財団	講義: オンデマンド配信 演習: LINK FORE ST	白水楓子
地域福祉権利擁護事業 説明会&相談会	11/15	東村山市社会福祉協議会	東村山市社会福祉協議会	瀬沼未来
知的発達障害部会利用 者支援研修会 『職場で起こる暴力に ついて考えよう』	11/15	東京都社会福祉協議会 知的発達障害部会	みどりの森相談室 (オンライン型研修)	佐伯哲也
社会福祉事業従事者 人権研修【Ⅱ】	11/25	東京都福祉局生活福祉部	東京都社会福祉保健医療 研修センター	佐伯哲也
虐待防止・権利擁護 研修	12/12	東京都社会福祉協議会 知的発達障害部会	みどりの森相談室 (オンライン型研修)	白水楓子
対人援助職のための アンガーマネジメント	12/17	東村山市基幹センター	東村山市社会福祉協議会	近藤香織
自転車安全利用TOK YOセミナー	12/19	東京都生活文化スポーツ 局	みどりの森相談室 (オンライン型研修)	加藤貴子
意思決定支援に向けて 現場の支援で知ってお きたいこと	1/17	東京都社会福祉協議会 知的発達障害部会	みどりの森相談室 (オンライン型研修)	白水楓子
社会福祉事業従事者 人権研修【Ⅱ】	1/27	東京都福祉局生活福祉部	みどりの森相談室 (オンライン型研修)	濱本祥子
アサーティブコミュニ ケーション研修	3/4	東京都福祉人材センター	みどりの森相談室 (収録型WEB研修)	濱本祥子

12. 会議

種 目	回 数	内 容
職員会議	1回/月	毎月の予定確認、直近の行事の話し合い等をした。 時間や曜日で参加できない非常勤もいるが、議事録 を回覧して全員に内容を周知できていた。
評価・アセスメント会議	2回/年	評価表を読み合わせ、公平な評価を実施。アセスメ ントをケース会議時に行う事としスムーズに会議 を実施できた。

給食会議	1回／隔月	改善点や他事業所との情報共有など確認し合うことができた。
ケース会議	2～3回／月	利用者個々の課題について随時実施した。予定通り実行できないことがあった場合、振替日を設け実施した。

13. BCP（事業継続計画）対策

（1）防災

計画に沿った形で法人全体での訓練の実施、研修の実施を行う。

また、定期的に会議を開催し、より実効性の高い防災対策を検討する。

- ・法人全体として実施していた。水災による被害防止のため、避難計画を策定した。
- また、事業所の実態に沿った内容になるように委員会と協議しながら策定した。

（2）感染症

計画に基づき、連絡調整や対応手段を整理し、感染症発生時にも円滑に事業の継続または再開をするための体制づくりをする。

- ・法人として委員会を実施していた。今年度は集団感染がなかった。今後も日々の衛生チェック（消毒、体温等）を実施した上で、異変を感じた際は報告、連絡、相談をしながら運営していく。

14. 苦情解決、個人情報保護、権利擁護、虐待防止、身体拘束の適正化、セクシャルハラスメント防止

（1）苦情解決

①利用者からの苦情解決実施要綱に基づき、苦情に対しては真摯に受け止め迅速且つ円滑な解決方法を見出せるよう努める。

- ・苦情はなかった。今後も何か問題が発生した際には、報告、連絡、相談をし事業所としてどう対処するか方針を決め解決に向かうよう努める。

②担当窓口及び第三者委員を掲示し、苦情解決への仕組みを利用者・家族へ周知する。

- ・保護者会や廊下に掲示している。

（2）個人情報保護

個人情報保護規程に基づき、個人の取り扱いには細心の注意を払い、データの管理を適切且つ安全に取り扱う。

- ・個人情報もしっかり管理し、鍵付きの書棚にて保管した。また、利用者の情報や施設で得た情報は外部に漏れないよう注意した。

（3）権利擁護・虐待防止・身体拘束の適正化

①人権の擁護、虐待防止等に関する運営委員会、担当職員を配置し、必要な支援体制の整備を行う。

- ・研修等で実施し定期的に確認をして、常に意識付けをしている。

②身体拘束の対策を検討する委員会を定期的に開催する。

- ・法人内で実施した。

③職員は、虐待防止の啓発・普及、身体拘束の適正化に関する研修を受講する。

- ・虐待防止委員会を中心に合同職員会議での研修会を実施し、また事業所から選出した職員が集まり虐待についてのミニ研修会を実施した。外部研修に行った職員からの研修報告会で勉強会を実施するなど、全員必要な研修を受講できた。

（４）セクシャルハラスメント防止

担当職員を配置し、セクシャルハラスメントの防止・対応にあたる。

- ・担当者が適切に対応できるよう、日々のミーティングで報告を行なった。

苦情解決

	氏名	連絡先
責任者	加藤 貴子	０４２－３９５－３２１０
担当者	濱本 祥子	同上
第三者委員	赤木 ふき子	同上

セクシャルハラスメント

	氏名	連絡先
責任者	加藤 貴子	０４２－３９５－３２１０
担当者（男性）	瀬沼 未来	同上
担当者（女性）	白水 楓子	同上

虐待防止・身体拘束の適正化

	氏名	連絡先
責任者	加藤 貴子	０４２－３９５－３２１０
担当者	佐伯 哲也	同上